

**自分で作ると
おいしいね**
冬休み食育おやこ料理教室

1月11日・12日の2日間、しんた21で『冬休み食育おやこ料理教室』（登別市、登別市食生活改善推進員協議会共催）が行われ、2日間で小学生とその保護者37人が参加しました。

当日は、管理栄養士による栄養講話や調理に関する説明が行われた後、肉まんやチョコまん、コーンクリームをレシピに加え、中華スープの調理を開始。

調理を終えた児童は「中華まんの皮となる生地をこねるのが大変だった」と話すとともに、汗を流し手作りした肉まんを、幸せそうな笑みを浮かべながら頬張りました。



▲つきたての餅を掲げる登夢くんと4人のつき手たち

**新年のお祝いとおもてなしを込めて
元日縁起もちつき**

新年を迎えた1月1日、泉源公園（登別温泉町）で、子宝安産や夫婦円満、家内安全を祈願する『元日縁起もちつき』が行われました。

毎年1月1日の開催が恒例となっている本イベントでは、昭和57年に誕生した郷土芸能『子宝もちつき舞』を地元の有志が披露。4人のつき手が笛や太鼓の軽快な音色に合わせて、きねを巧みに操りながら餅をつく様子に、集まった宿泊客ら約500人からは、多くの拍手と歓声が送られました。

ついた餅はお汁粉として振る舞われ、寒空の下で冷えた宿泊客らの体を温めました。



▲手作りした中華まんやスープを食べる児童



**未来に向かって一歩踏み出す
令和6年登別市二十歳のつどい**



▲スーツや色鮮やかな晴れ着を身にまとった参加者

1月7日、市民会館で『令和6年登別市二十歳のつどい』を開催しました。

今年も、20歳の節目を迎えた平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの367人が式に出席。華やかな振り袖や羽織はかまなどに身を包み、かつての日々を過ごした仲間たちと笑顔で再会しました。

式典では、二十歳代表の岸大和さんと、澤野日南さんが『二十歳の誓い』として、愛情を持って育ててくれた両親や、支えてくれた友人などへの感謝の気持ちを伝えるとともに「限らない可能性を秘めた若者として切磋琢磨し、何事にも積極的に取り組むよう努めます」と力強く宣誓しました。

式典後のアトラクションでは、登別市を拠点に全国で活躍する兄妹ユニット『和太鼓ZINKA』による大迫力な和太鼓の演奏や、中学校時代の恩師によるお祝いメッセージの上映、卒業中学校別の写真撮影が行われ、参加者は友人とのひとときを楽しみ、思い出を胸に刻みました。

